


山 行 報 告 書

山行報告提出者：鈴木

山 域・山 名：大朝日岳（1,870.3m）（山形県小国町）	
入山日：2022年9月30日（金）～10月1日（土） 1泊2日 帰宅予定日：10月1日（土）	
プラン担当者 正副：鈴木	下山中、大朝日岳を振り返る
参 加 者 L：報：記：鈴木 箕島、鎌田、 男2名、女1名、計3名	
天候：9/30 快晴 10/1 快晴	
9月29日（木）	圏央道、東北道、東北中央自動車道経由、米沢北IC下車 朝日鉱泉ナチュラルリストの家 tel:090-7664-5880 に前泊
9月30日（金）	朝日鉱泉 5：55—金山沢出合 8：00—鳥原山 10：30—小朝日岳 13：00— 大朝日小屋 14：20 行動：8h25m
10月1日（土）	大朝日小屋 5：10—大朝日岳 5：25—平岩山 6：30—御影森山（9：00—上倉山 11：00— 朝日鉱泉 13：10 行動：8h00m
	13：30 朝日鉱泉発—米沢北IC 乗車帰宅
荒天候時のエスケープルート： ルート引き返し（※天候/ルート状況/疲労度を考慮し、撤退時間を決定）	
装 備 と 食 糧	共同装備：浄水器（鈴木） 共同食：無し 車提供者：鈴木 個人装備：ヘッドランプ（予備電池）、コンパス、地図、ストック、グローブ、防寒衣、レインウェア、 バーナー、調理具、水（空ポリ容器 2L 分）、スマホ（バッテリー）、シュラフ、マット、お風呂セット、 着替え、割引利用希望者の居住地証拠書類（運転免許証、保険証等）、ツェルト、 個人食：9/30 昼食・夕食、10/1 朝食・昼食・非常食
感 想	前泊のナチュラルリストの家までの道は後半狭く未舗装路、夜間の通行は厳しい。宿は鉱泉入浴可能で、 混雑時は相部屋になる旅館と山小屋を合わせた感じ。食事は山菜中心だが美味、食堂のBGMはジャズ。 9/30 快晴の予報に気分が弾むが、いきなりの急登に息も弾む。鳥原小屋ではあるはずの水場が枯れており 要注意。高度をあげ視界が開け小朝日岳を臨むころは、東北特有のなだらかな優雅な山域が姿を現し疲れが 癒される。大朝日小屋はコロナ禍、通常の二人分を一人が使用できストレスなく一夜を明かした。 夕方、徒歩 15 分ほどの山頂で暮れなすむ雄大な景色を堪能出来、大満足の日を終える。 10/1 また快晴の予報のもと、山頂に着くと程なく太陽が姿を見せ、2日続きベストコンディションが 始まった。御影森への下山路は 100mほどのアップダウンが 5-6 か所あり歩けど歩けど標高が下がらない。 4 時間ほど降りてもまだ大朝日岳が視界にあり、登山道左右の雄大な山並みをいつまでも楽しむことが 出来た。その代わり御影森を過ぎてからはガレた激下りが延々と続き容赦ない体力消耗を強いられた。 最後に沢の音が徐々に近づき、吊り橋を 2 つ渡り朝日鉱泉に無事到着下山した。 東北の数ある名山の中で宿泊が必要なロングコースをずっと雨どころか曇りやガスも無い 2 日間を 過ごせた。こんな滅多にない充実した山行を体験できたことを誰に感謝すればいいのだろうか。